



平成26年12月12日

各 位

上場会社名 日本道路株式会社  
 代表者 代表取締役社長 山口 宣男  
 (コード番号 1884 東証第一部)  
 問合せ先 経理部長 下田 義昭  
 TEL (03) 3571-4051

## 不適切な会計処理の当社業績に与える影響及び 平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成26年10月31日に公表いたしました不適切な会計処理の当社業績に与える影響及び平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値との差異に関しまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 不適切な会計処理の当社業績に与える影響について

平成26年12月5日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、当社北関東支店において判明した不適切な会計処理に関する第三者委員会の調査報告書を受け、当該不適切な会計処理に係る業績への影響について検討いたしました。当該不適切な会計処理が過年度及び平成27年3月期第1四半期の決算に与える影響は軽微であると判断し、過年度及び平成27年3月期第1四半期の決算訂正は行なわないことといたしました。

当該不適切な会計処理に係る平成27年3月期期首の(連結)利益剰余金に与える影響は△210百万円であり、これは主に、平成22年3月期から平成26年3月期までの5連結会計期間の累計で売上高が190百万円過大であり、売上原価が136百万円過少であったことによります。

なお、過大であった売上高及び過少であった売上原価等の一部は、平成27年3月期第2四半期(連結)累計期間に計上され、同四半期(連結)累計期間の売上高について△92百万円、売上原価について196百万円、営業利益及び経常利益について各々△288百万円、当期純利益について△183百万円の影響となっております。

#### 2. 平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異について

平成27年3月期第2四半期累計連結業績予想数値と実績値との差異(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	66,000	2,400	2,400	1,400	15.91
今回実績値(B)	64,971	2,196	2,536	1,491	16.95
増減額(B-A)	△1,029	△204	136	91	
増減率(%)	△1.6	△8.5	5.7	6.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	66,157	2,388	2,459	1,399	15.89

平成27年3月期第2四半期累計個別業績予想数値と実績値との差異(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,000	2,000	2,000	1,200	13.63
今回実績値(B)	57,185	1,411	1,621	768	8.73
増減額(B-A)	△815	△589	△379	△432	
増減率(%)	△1.4	△29.5	△19.0	△36.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	57,265	1,980	2,078	1,151	13.08

## 差異の理由

### (1) 個別

上記1.の不適切な会計処理に起因する影響額以外の差異の要因としましては、建設事業においては、大型物件が完成したことにより売上高・工事利益が伸びましたが、その反面製品販売事業が、当初、前期（平成26年3月期）並みの出荷量を見込んだものの、得意先の施工期間により出荷が下期にずれ込んだため、当初予想を下回ることとなりました。

通期の業績予想につきましては、受注高や手持工事が順調に推移する見込みであることから、当初予想どおりとして、業績予想の修正をいたしていません。

### (2) 連結

個別業績の結果に伴い、連結業績につきましては、売上高・営業利益が前回発表予想を下回る結果となりましたが、為替差益183百万円の計上により経常利益・四半期純利益は前回予想を上回る結果となりました。

以 上